

(基本構想パブリックコメント)ご意見に対する市の考え方

該当か所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
1 その他	<p>総合計画の案には、学校教育の充実を図ると記載されているが、実情は旧の粉河町と那賀町の小学校を大幅に減らして子供達の居場所を奪うひどい改悪となっている。色々調べてみたが、学校を統廃合すると国から補助金が出るみたいで、学校教育の充実とは程遠くないか？</p> <p>私は学校の休校には反対していて、母国の長田小学校は残してほしいと思っている。子供の居ない居住区と子供が居る居住区にどんどん分かれていく未来が想定できる。小学校は本来、避難所としての機能があるが休校にした学校は急激に劣化してく。どのように市として避難所としての機能を維持するのか？</p>	<p>学校教育や地域の学校のあり方について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>まず、学校を統廃合することで、国から補助金が得られるものではなく、また、国から補助金を得るために取り組んでいるものではないという点についてご理解いただくと幸いです。</p> <p>近年、全国規模で進む少子化について、本市においても少子化の進行により児童数が減少しており、学校によっては学級数の減少や小規模校化が進んでいます。このような状況の中で、紀の川市教育委員会では、こどもたちが多様な人間関係の中で学び合い、成長できるよう、教育環境の不均衡を是正し、児童にとって望ましい教育環境を確保することを目的に学校適正規模適正配置を検討しており、第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）においても、こどもたちが安心して学ぶことができる教育環境の充実を重要な方向性として位置付けております。</p> <p>また、学校は地域にとって大切な施設であるとともに、災害時には避難所としての役割を担うなど、地域防災の拠点としての機能も有しています。いただいたご意見のとおり、地域における学校の役割は大きいことから、学校施設のあり方や地域防災の拠点機能についても、関係部署と連携しながら適切に検討していく必要があると認識しております。</p> <p>今後も、こどもたちのことを第一に考え、また、地域の皆様の思いにも配慮しながら、学校のあり方について丁寧に取り組んでまいります。</p>	なし
2 その他	<p>【いただいた意見に特定の学校名が記載されていたため、一部、意見の内容を書き換えています】</p> <p>学校教育について、児童・生徒や保護者が安心して過ごせる学校づくりを進めてほしい。特に、学校の管理職のリーダーシップの確保や、学校に関する問題を相談できる体制の充実、支援学級への在籍を含めた意思決定の仕組みの明確化などについて取り組んでほしい。</p>	<p>学校教育に関して、児童・生徒や保護者が安心して学校生活を送ることができる環境づくりの重要性についてのご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>学校は、こどもたちが安全で安心して学び、成長していくための大切な場であり、児童・生徒、保護者、地域の皆様から信頼される学校づくりを進めていくことが重要であると認識しております。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）においても、こどもたち一人ひとりの個性や状況に応じた教育の推進や、安心して学べる教育環境の充実を重要な方向性として位置付けております。</p> <p>いただいたご意見にあります学校運営の体制づくりや、特別な支援を必要とする児童・生徒への対応、また学校に関する相談体制のあり方などについては、教育委員会において日頃から取り組んでいるところですが、児童・生徒や保護者が安心して相談できる体制を確保することは大変重要であると認識しております。</p> <p>今後も、保護者の皆様の声に耳を傾けながら、児童・生徒が安心して学べる教育環境の充実とともに、保護者が安心して相談できる体制づくりについても、引き続き取り組んでまいります。</p>	なし
3 2. まちづくりの目標 (1) 目標2 仕事にぎわい	<p>(農業政策について)</p> <p>私は親元就農をしている果樹、いちごの30代の農家です。総合計画案で果樹栽培の振興と高付加価値と記載されているが、現状は私が子供の頃から変わっていないが、あらかわの桃に重点政策、重点的な予算が組まれ、宣伝もあらかわの桃が中心で行われている。紀の川市には、あらかわの桃以外の桃農家が多数いて実際はあらかわの桃より数が多い。あらかわの桃に偏った取り扱いはやめて、紀の川市全体の桃としてアピールする方が効果的であると思う。現状は、あらかわの桃はブランド化されていて十分高付加価値化は出来ているがそれ以外の桃農家はできていない。いつも市長がPRしている桃、ピーチの搭乗者に配る、高野山への献上、市場でのトップセールスはあらかわの桃とJAのものしか取り上げない。</p> <p>紀の川市全体の桃として扱ってほしい。</p>	<p>本市の農業、とりわけ桃の生産について、実際に営農されている立場から貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>紀の川市は全国有数の果樹産地であり、桃をはじめ、いちじく、柿、キウイフルーツなど多様な果樹が生産されていることが本市農業の大きな特徴であり強みであると認識しています。</p> <p>その中で「あらかわの桃」は、長年にわたり生産者の皆様の努力によって高い品質とブランド力を築いてこられたものであり、本市を代表する農産物の一つとしてPRを行っているところです。</p> <p>一方で、本市には多くの桃生産者がおられ、それぞれの地域や生産者の取組により高品質な桃が生産されており、本市全体として桃の産地であることも重要な特徴であると認識しております。</p> <p>ご意見のとおり、本市の桃の魅力をより広く発信していくことは、桃農家の所得向上や果樹産地としての評価の向上にもつながる重要な視点であると考えております。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）においては、果樹栽培の振興や農産物の高付加価値化を重要な方向性として位置付けており、今後の施策の検討にあたっては、特定のブランドだけでなく、本市全体の果樹産地としての魅力や農産物の価値をどのように発信していくかという観点も含め、いただいたご意見を参考にしながら取り組んでまいります。</p>	なし
4 その他	<p>和歌山市役所の14階農園のような活用をしてみてもどうでしょうか。</p> <p>紀の川市で作られる野菜・果物のB品を利用し福祉作業所として障害者の働く場所とするのはどうでしょうか。</p> <p>土日は駐車場も空いているので活用出来ます。めっけもんには他府県からもたくさんの方が来られているので、お買い物帰りの食事に寄ってもらえる可能性もあり、紀の川市の農産物を知ってもらえる場になります。</p>	<p>本市の農業振興や障害のある方の就労機会の創出、さらには地域資源を活用した魅力発信について、具体的なご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>ご提案のように、地域で生産される農産物の有効活用や、障害のある方の就労機会の確保、地域の魅力発信を組み合わせた取り組みは、地域共生社会の実現や地域産業の活性化の観点からも重要な視点であると認識しております。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）においても、農業の振興や地域資源の活用、誰もが活躍できる社会づくりなどをまちづくりの重要な方向性として位置付けているところです。</p> <p>いただいたご提案につきましては、今後の施策や事業を検討していく際の参考とさせていただくとともに、農業、福祉、観光などの分野が連携した地域づくりの取り組みについて、関係部署とも情報共有を図ってまいります。</p>	なし

	該当か所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
5	2. まちづくりの目標 (1) 目標5 しくみと共創	<p>(人口減少社会を前提とした都市経営の視点の明確化について)</p> <p>本市を含む多くの地方都市において、今後人口減少と高齢化が進行することは不可避であり、これに伴い税収の伸び悩みや社会保障費の増大が見込まれます。そのため、将来の都市経営においては「人口減少を前提とした都市機能の維持・再編」という視点が不可欠であると考えます。本基本構想では人口減少への対応の必要性が示されていますが、公共施設、インフラ、行政サービスの水準などについて、人口規模の変化を踏まえた都市規模の適正化や機能の集約の方向性が必ずしも十分に示されているとは言い難いと感じます。持続可能な都市経営の観点から、人口減少を前提とした都市機能の維持・再編、公共施設マネジメント、行政サービスの重点化などについて、基本構想の段階から方向性をより明確に示す必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>人口減少や少子高齢化が進行する中で、持続可能な都市経営を進めていくことの重要性についてのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、本市においても今後人口減少や高齢化が進行することが見込まれており、将来にわたり持続可能な行政運営や都市機能の維持を図っていくことは重要な課題であると認識しております。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)においては、人口減少社会を見据えた持続可能なまちづくりを基本的な視点の一つとして位置付けており、限られた財源や資源の中で効率的・効果的な行政運営を進めていくことや、地域の実情に応じた都市機能の維持・充実を図ることをまちづくりの方向性として示しているところです。</p> <p>一方で、公共施設のあり方やインフラの維持管理、行政サービスの提供方法などの具体的な取組については、公共施設等総合管理計画をはじめとする個別計画や各分野の施策において検討・推進していくこととしております。</p> <p>いただいたご意見も踏まえながら、人口減少社会に対応した持続可能な都市経営の観点を意識しつつ、今後のまちづくりに取り組んでまいります。</p>	なし
6	2. まちづくりの目標 (1) 目標6 しくみと共創	<p>(政策の重点化と選択と集中について)</p> <p>基本構想においては多様な分野の施策が示されていますが、人口規模や財政規模を踏まえると、すべての分野に同程度の資源を配分することは現実的ではありません。</p> <p>限られた財源と人的資源の中で政策効果を最大化するためには、地域の特性や優位性を踏まえた政策の重点化、すなわち「選択と集中」の考え方が重要であると考えます。</p> <p>特に本市は、果樹農業を中心とした農業生産地としての特性を有するとともに、関西都市圏への通勤圏という地理的条件も併せ持っています。こうした地域特性を踏まえ、どの分野に重点的に取り組むのかという戦略性を、基本構想においてより明確に示すことが望ましいと考えます。</p>	<p>人口減少や少子高齢化が進行する中、限られた財源や人的資源を有効に活用しながら、効果的なまちづくりを進めていくことの重要性についてのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)では、本市の特性や強みを生かしたまちづくりを進めることを基本的な考え方としており、果樹を中心とした農業の振興や、地域資源を生かした産業の活性化、安心して暮らせる生活環境の確保などを重要な方向性として位置付けています。</p> <p>総合計画の基本構想は、本市の将来像とまちづくりの基本的な方向性を示すものであり、具体的な施策や事業の重点化については、今後策定する基本計画や各分野の施策の中で、社会情勢や財政状況、本市の地域特性などを踏まえながら検討していくこととなります。</p> <p>いただいたご意見のとおり、地域の特性や強みを生かした施策の展開は重要であると考えており、今後の計画推進や施策の検討にあたって参考とさせていただきます。</p>	なし
7	2. まちづくりの目標 (1) 目標6 しくみと共創	<p>(成果指標の設定と行政評価との連動について)</p> <p>総合計画は策定すること自体が目的ではなく、その進捗と成果を継続的に検証し、必要に応じて施策を改善していくことが重要です。そのためには、施策の成果を客観的に把握できる指標を設定し、行政評価と連動させる仕組みが不可欠です。総合計画においては市民満足度などの指標が用いられることも多いですが、人口動態、産業活動、行政サービスの効率性など、客観的なデータによる指標も併せて設定することで、政策効果の検証がより実質的なものになると考えますがいかかでしょうか。</p>	<p>総合計画の推進にあたっては、計画の進捗や成果を継続的に把握し、社会情勢の変化や施策の実施状況を踏まえながら必要な改善を図っていくことが重要であると認識しています。</p> <p>本市においては、総合計画の施策の進行管理を行うにあたり、行政評価制度と連動させながら、各施策の取組状況や成果の検証を行うことを基本的な考え方としています。</p> <p>ご意見にあるとおり、施策の成果を適切に把握するためには、市民満足度などの主観的な指標に加え、人口動態や産業活動の状況、行政サービスの効率性など、客観的なデータに基づく指標を組み合わせ活用していくことが重要であると考えています。</p> <p>今後、基本計画や施策の進行管理の仕組みを検討する中で、いただいたご意見も参考にしながら、計画の実効性を高めるための取組を進めてまいります。</p>	なし
8	2. まちづくりの目標 (1) 目標3 くらしと環境	<p>(持続可能な行政運営に向けた行政改革の位置付けについて)</p> <p>人口減少社会においては、財政制約だけでなく行政人材の確保も大きな課題となることが想定されます。このため、行政DXの推進、事務事業の見直し、公民連携の活用など、行政運営の効率化と質の向上を図る取り組みは、今後ますます重要になると考えます。これらの行政運営改革についても、基本構想における重要な視点としてより明確に位置付けることが必要ではないのでしょうか。</p>	<p>人口減少や少子高齢化が進行する中、持続可能な行政運営を確保していくためには、限られた財源や人的資源を有効に活用しながら、行政サービスの質の向上と効率化を図っていくことが重要であると認識しています。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)においても、社会情勢の変化に対応しながら効果的・効率的な行政運営を進めていくことを基本的な考え方の一つとして位置付けており、行政DXの推進や事務事業の見直し、公民連携の活用などを通じて、持続可能な行政運営の確立に取り組んでいく必要があると考えています。</p> <p>具体的な取組については、今後策定する基本計画や各分野の施策の中で、社会情勢や行政需要の変化等を踏まえながら検討を進めていくこととしており、いただいたご意見も参考にしながら、行政運営の効率化とサービスの質の向上に努めてまいります。</p>	なし

該当箇所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
9 2. まちづくりの目標 (1) 目標3 くらしと環境	<p>(公共施設およびインフラの「適正化」の明文化について)</p> <p>将来像に掲げる「住みよいまち」を維持するためには、既存施設の単なる維持ではなく、人口規模に見合った「総量削減」を伴うアセットマネジメントの視点を基本構想に明記すべきです。</p> <p>本市の公共建築物は築30年以上の割合が高く、将来の維持更新費が財政を圧迫することは明白です。目標3の「土地を使い、守る」という表現に、「将来の財政負担を考慮した公共施設の最適化・集約化」という文言を追加してください。基本計画においては、「延床面積の削減目標」や「維持管理コストの抑制額」を具体的なKPIとして設定することを求めます。</p>	<p>本市においても、人口減少や少子高齢化が進行する中で、公共施設やインフラの老朽化が進んでおり、将来の維持更新に係る財政負担への対応は重要な課題であると認識しています。将来にわたり持続可能なまちづくりを進めていくためには、将来世代への過度な負担を残さないという観点も踏まえながら、公共施設やインフラの適切な維持管理と活用を図っていくことが必要であると考えています。</p> <p>本市では、「公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の長寿命化や統廃合、機能の見直しなどを通じて、将来の行政需要や財政状況を踏まえた公共施設マネジメントを進めています。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)は、本市の将来像とまちづくりの基本的な方向性を示すものであり、公共施設やインフラについても、将来の人口規模や地域の実情を踏まえながら適切な維持管理や活用を図っていくことを基本的な考え方としています。</p> <p>公共施設の総量や維持管理コストなどの具体的な目標や指標については、公共施設等総合管理計画や今後の基本計画等の中で検討していくこととしており、いただいたご意見も参考にしながら、将来世代への負担の軽減も意識した持続可能な公共施設マネジメントに取り組んでまいります。</p>	なし
10 2. まちづくりの目標 (1) 目標2 仕事とにぎわい	<p>(産業振興による財源確保ロジックの強化について)</p> <p>農業振興や企業誘致を単なる「にぎわい」に留めず、市の歳入構造を改善し、持続可能な財政基盤を構築するための「投資」として再定義すべきです。</p> <p>本市の歳入における市税割合の低さを改善するため、目標2において「高付加価値農業の推進による農業所得の向上と、それに伴う増収増の循環」を明記してください。また、企業誘致についても、単なる雇用創出だけでなく「法人市民税の増収目標」との相関を明確にすべきです。ふるさと納税等の外部資金を、次世代の産業基盤(農業DX等)へ重点投資する方針を基本計画に盛り込むことを提案します。</p>	<p>本市の持続的な発展のためには、地域経済の活性化を図り、雇用や所得の向上につなげていくことが重要であり、そのことが結果として地域経済の好循環を生み出し、持続可能な財政基盤の確立にもつながるものと認識しています。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)においても、本市の強みである果樹農業をはじめとした地域産業の振興や、新たな産業の創出、企業誘致の推進などを通じて、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることを重要な方向性として位置付けています。</p> <p>ご意見にあるように、農業の高付加価値化や企業誘致の推進は、地域の所得向上や増収の確保にもつながる重要な取組であると考えており、ふるさと納税などの外部資金の活用も含め、地域産業の持続的な発展に資する施策の推進が重要であると認識しています。</p> <p>なお、具体的な施策の内容や指標、目標設定等については、今後策定する基本計画や各分野の施策の中で、社会経済情勢や本市の実情を踏まえながら検討していくこととしており、いただいたご意見も参考にしながら、地域経済の好循環と持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。</p>	なし
11 2. まちづくりの目標 (1) 目標6 しくみと共創	<p>(EBPM(データに基づく政策立案)による行政最適化について)</p> <p>「行政運営の最適化」を達成するため、経験則に頼らないデータ駆動型の意思決定(EBPM)の導入を基本構想の柱に据えるべきです。</p> <p>限られたリソースを効果的に配分するため、目標5において「施策の費用対効果(ROI)の検証」と「客観的データに基づく施策の優先順位付け(スクラップ・アンド・ビルド)」の徹底を明記してください。行政DXを単なる事務効率化に留めず、人流データや財務データの分析に基づいた公共交通の再編や広域連携の推進など、構造的なコスト削減に繋げる視点を基本計画に反映させるべきです。</p>	<p>人口減少や社会情勢の変化が進む中で、限られた財源や人的資源を有効に活用しながら、効果的・効率的な行政運営を進めていくことは重要な課題であると認識しています。</p> <p>このため、本市においても、各施策の実施状況や成果を把握しながら行政評価を行い、施策の改善につなげていくとともに、客観的なデータや根拠に基づいた政策形成の重要性が高まっているものと考えています。</p> <p>また、行政DXの推進についても、単なる事務の効率化にとどまらず、データの利活用を通じて行政サービスの質の向上や効果的な施策の立案につなげていくことが重要であると認識しています。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)では、持続可能な行政運営の確立を重要な視点として位置付けており、今後策定する基本計画や施策の推進にあたっては、行政評価やデータの活用などを通じて施策の効果検証や見直しを行いながら、より効果的な行政運営に努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、客観的データの活用や行政DXの推進などにより、持続可能で質の高い行政運営の実現に取り組んでまいります。</p>	なし

	該当か所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
12	1. 市の将来像	<p>私は、紀の川市の将来像及び基本構想を考えるにあたり、本市が世界に誇る偉人である『華岡青洲の顕彰』を、まちづくりの根幹に位置づけるべきであると考えます。</p> <p>紀の川市は、豊かな自然、全国に誇る農産物、そして歴史と文化に支えられたまちです。その中でも華岡青洲は、紀の川市を象徴する存在であり、本市の独自性と誇りを体現する人物です。華岡青洲は、世界で初めて全身麻酔による乳がん摘出手術を成功させ、多くの命を救いました。また、医療の分野にとどまらず、地域農業を守るために私財を投じて農業用ため池を築くなど、地域の暮らしそのものを支えた人物でもあります。こうした功績は市の資料でも紹介されています。華岡青洲の生き方には、「人の命と健康を守る心」、「地域の暮らしを支える実践力」、「人と人との絆を大切にす姿勢」、そして「困難に立ち向かい新たな価値を生み出す挑戦の精神」が表れています。</p> <p>これからの紀の川市は、人口減少や少子高齢化、地域のつながりの希薄化など、さまざまな課題に向き合っていくかなければなりません。そのような時代だからこそ、華岡青洲の志や人生観、人となり、単なる歴史的人物の顕彰にとどめるのではなく、紀の川市のまちづくりの理念として基本構想の中に明確に位置づけることが重要であると考えます。具体的には、華岡青洲の精神を次のような分野に反映することを提案します。まず「教育分野」においては、郷土の偉人として学ぶだけでなく、青洲の挑戦心、探究心、思いやりの心を通して、子どもたちが郷土への誇りと未来を切り拓く力を育む教育につなげるべきです。次に「福祉・医療分野」では、青洲の「人の苦しみに寄り添う心」を原点として、誰もが安心して暮らせる地域共生社会づくりを進めるべきです。さらに「農業振興分野」では、青洲が地域農業を守るために尽力した精神を受け継ぎ、農業を本市の基幹産業として守り育て、次世代へ継承していく視点を強めるべきです。併せて「地域づくり分野」においては、人と人との絆を大切にす青洲の姿勢を生かし、市民、地域、団体、企業、行政が支え合いながら協働するまちづくりの理念として位置づけるべきです。</p> <p>以上のことから、将来像及び基本構想の中に、「華岡青洲の顕彰を通じて紀の川市のめざすまちの姿」を明確に示していただくよう要望します。例えば、基本構想の考え方の中に、次のような趣旨を盛り込むことが望ましいと考えます。「紀の川市が世界に誇る偉人・華岡青洲の志に学び、人を思いやり、命と暮らしを守り、地域の絆を育み、未来を切り拓くまちづくりを進める。」華岡青洲の顕彰は、単なる人物紹介ではなく、『紀の川市の教育、福祉、農業振興、地域づくりを貫く理念』として、基本構想に位置づける価値があると考えます。</p> <p>紀の川市らしさを未来へつなぐためにも、ぜひ基本構想に反映していただきますようお願いいたします。</p>	<p>貴重なご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>本市の将来像である『わくわくの未来』や、それを支える『先人たちが築き上げてきた歴史や文化』という表現には、華岡青洲が体現した『自分のことだけでなく、誰かのために、地域のために尽くそうとする思い』が深く込められています。</p> <p>市の最上位計画である基本構想は、時代が変わっても変わることのない普遍的な理念を示すものであるため、特定の個人名の記載は控えております。</p> <p>しかし、ご提案いただいた教育、福祉、農業といった各分野での具体的な活用アイデアは、今後の『基本計画』を策定する上で非常に重要な視点です。各担当部課へこの趣旨を伝え、青洲の志を継承する具体的な事業が展開されるよう連携してまいります。</p>	なし
13	2. まちづくりの目標 (1) 目標3 くらしと環境	<p>土地は、我々が先人から受け継ぎ利用させていただき、次世代へ繋いでいくもの。よって「適切に土地を使い、守り、次世代へつなぐ環境を築きます。」の表現は不遜であると思う。「土地を使い」は「土地を活かし」、または「土地を活用し」、と表現すべきである。</p>	<p>本市の土地や歴史に対する深い敬意と、まちづくりへの真摯なご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>ご指摘の通り、土地は先人から受け継ぎ、次世代へより良い形で引き継ぐべき本市の最も重要な財産です。目標3の『適切に土地を使い』という表現は、一般的な行政用語（土地利用等）に基づき記載したものでしたが、本市の将来像や理念を示す最上位計画として、ご提案の『土地を活かし』とする方が、本市の目指す持続可能なまちづくりの精神をよりの確に表していると判断いたしました。</p> <p>いただいたご意見を反映し、該当箇所を『適切に土地を活かし、守り、次世代へつなぐ環境を築きます。』と修正いたします。</p>	あり 『適切に土地を活かし、守り、次世代へつなぐ環境を築きます。』と修正
14	2. まちづくりの目標 (1) 目標4 健康と共生	<p>市民の第一の関心ごとは、医療・福祉の充実である。また、健康づくりは市民一人ひとりも取り組むべきことである。「健康づくりや医療・福祉の充実を図るとともに」は、行政のみの取り組みではないため、「医療・福祉の充実を図り、ともに健康づくりをすすめる、」とすべきである。</p>	<p>健康づくりと医療・福祉の役割分担に関する的確なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の通り、『健康づくり』は行政からのサービス提供のみで達成できるものではなく、市民の皆様一人ひとりの主体的な取り組みと、地域・行政のサポートが一体となって進めるべきものです。この視点は、本構想が目指す『ともに創るまちづくり』の根本を成すものです。</p> <p>いただいたご意見を反映し、目標4の説明文について、行政の基盤整備と市民の主体的な活動の協働関係が明確に伝わるよう、『医療・福祉の充実を図り、ともに健康づくりを進めながら、多様な人々が互いを認め合い、支え合う共生社会の実現を目指します。』と文言を修正いたします。</p>	あり 『医療・福祉の充実を図り、ともに健康づくりを進めながら、多様な人々が互いを認め合い、支え合う共生社会の実現を目指』

	該当箇所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
15	2. まちづくりの目標 (1) 目標5 しくみと共創	対話により連携が生まれることから、「連携と対話により、持続可能で質の高い行政基盤をつくる」は「対話と連携により」と表現すべきである。 また、「行政の運営を絶えず見直し、より質の高いサービスを実現する」では市のみの取組となる。市民との対話と参画である共創を進めていくべきであるため、「行政の運営を絶えず見直し、より質の高いサービスを実現するとともに、対話と参画を大切にしながら」を「対話と参画を大切にしながら行政の運営を絶えず見直し、より質の高いサービスの実現を、」とすべきである。	本市のまちづくりの作法である『対話』と『参画』の重要性を深く捉えたご意見をいただき、ありがとうございます。 目標5『しくみと共創』において、連携の前提には必ず対話があるべきというご指摘、また行政運営の改善は市民の皆様との共創のプロセスであるべきというご指摘は本構想が目指す方向性そのものとなります。いただいたご意見を反映し、該当箇所を以下の通り修正いたします。 ・『対話と連携により、持続可能で質の高い行政基盤をつくる』 ・『対話と参画を大切にしながら、行政の運営を絶えず見直し、ともに考え、ともに創るまちづくりを推進します。』 これにより、行政が一方向的にサービスを提供するのではなく、市民の皆様とともに考え、より良い仕組みを創り上げていく決意を、基本構想の柱として明確に示してまいります。	あり ・『対話と連携により、持続可能で質の高い行政基盤をつくる』と修正 ・『対話と参画を大切にしながら、行政の運営を絶えず見直し、より質の高
16	その他	小学校、保育所を統廃合して教育に関する予算をカットしようとしているのが、再編計画を見て強く感じる。未来を担っていけるのは子供たちで子供たちの居場所、ふるさとを奪う統廃合、予算カットは大反対だ。財政難で学校、保育所を維持するのも難しいのなら、市の公務員数の削減、市長、市議会議員の報酬の減額、市議会議員の議員定数削減、無駄な道路作りの計画の中止を行うべきだ。京奈和自動車道の関空への延伸は市民のためにはならない。市民が減る中での打田地区の歩道を作るための何年もかかる道路工事も必要ない。学校保育所の統廃合を行う際に国から出る補助金がなければ、こんなに急速な統廃合は行わないはずだ。市民のための、公立の保育所を減らす市民サービスのカットを行う紀の川市に人口減少を食い止めることは絶対に出来ない。保育所を統廃合して新たな別の場所に建て替えることを急ぐのも補助金があるからだ。補助金を頼るのではなくて、市の貯金を貯めて少しずつ建て替えを行えばいいのではないのか？紀の川市として教育にも予算を割けないのなら5つの町が合併したことが間違いで5つの町それぞれを管理できてないのでは。紀の川市を縮小する方がいいのでは。	教育・保育環境、そして地域の将来に対する切実なご意見を重く受け止めております。 本市が取り組んでいます再編計画は、施設の削減そのものが目的ではなく、こどもたちの未来を保障するための『次世代の教育・保育拠点の創出』を目的としています。これは国の指針や県の教育方針、そして本市の『第2次紀の川市教育大綱』に掲げる『教育環境の不均衡の是正』を具現化するものです。こどもたちが多様な仲間と学び合い、社会性を育むためには、一定の集団規模を持つ拠点が不可欠です。 特定の地域を切り捨てるのではなく、市内全域に質の高い『拠点』を配置し、公共交通等でそれらをつなぐことで、どこに住んでいても安心して暮らし、学べるまちづくりを推進してまいります。	なし
17	2. まちづくりの目標 (1) 目標5 しくみと共創	スマートシティ(タウン)の導入について 現在和歌山県ではすさみ町が国土交通省から「スマートシティモデル事業」に選定され開発スケジュールが発表されている。また和歌山市においてもすでに和歌山スマートシティ推進プラットフォームを立ち上げている他有田市・白浜町においても独自の事業計画を展開している。紀の川市においては市としての住民サービスをデジタル化して、サービスの利便性を図る「紀の川市DX推進計画」なるものが策定されているが、これは地方自治体から居住市民に対して一方通行的な住民サービスの向上であり、地域学校・企業などの意見が反映されていない。	スマートシティの推進に関する、極めて戦略的かつ具体的にご提案をいただき感謝申し上げます。 本市の計画体系では、最上位計画である『基本構想』において、まちづくりの揺るぎない方針(理念)を定め、それを受けた具体的な事業展開を『基本計画』で定めることとしております。 ご指摘いただいた『行政からの一方通行ではない、産学官民の連携によるスマートシティ』の実現は、まさに本構想が最重要視する目標5『しくみと共創』、および『対話と参画』の精神を具現化するものです。 このため、基本構想においては、多様な主体がまちづくりに参画する『共創』の理念をより強く打ち出し、それに基づいた具体的な推進体制(プラットフォームの設置等)やデジタル技術の活用方法については、実行計画である『基本計画』の中に重点施策として明確に位置づけてまいります。理念を掲げるだけでなく、それをどう実現するかという具体的な道筋を基本計画で示すことで、市民の皆様とともに歩むスマートシティを推進してまいります。	なし
18	歴史文化について (文化祭開催について)	市の文化祭開催について→市で一会場に 各旧町、別々の間催は、盛り上がりには欠け、各芸術のレベルアップにつながらない。 もっと、広く、大きな視点からの刺激が必要である。 従って、芸術のジャンル毎に(例えば写真とか絵画とか書道とかを、紀の川市全体で展示。) 文化協会の方針もあり、一概にはいかないと思いますが。	本市の文化振興について、具体的にご提案をいただきありがとうございます。 文化祭は、市民の皆様が芸術に触れることができる機会となっていると同時に、様々な開催形態があることも確認しているところです。ご提案いただいているように、各ジャンルごと、市内全域の芸術作品が集まる場を設けることで作品製作者皆様の刺激に繋がり創作意欲を高める効果が期待できるほか、多くの観覧者の目に触れる中で、新規に志す方も現れる可能性が高まるものと思います。 より多くの方々に様々な活躍の機会が提供されることは、第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)で目標のひとつに掲げている、生涯学習や地域の多様な活動によるひとづくりや地域づくりをまちづくりに繋がるものと思います。 いただいたご提案につきましては、今後の生涯学習施策や事業実施方法を検討していく際の参考とさせていただきますとともに、文化活動を通して様々な人々が活躍し、生き生きと暮らすことができるよう、関係部署とも情報共有を図ってまいります。	なし

	該当か所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
19	歴史文化について (華岡青洲)	<p>合併の名残りか、今なお旧〇〇町の意識が強く市全体としての取り組みが盛りあがっていない。 紀の川市には、歴史・文化で取り上げたいものが数多くあるが、特筆すべきは華岡青洲である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フルーツの町きのかわ市」と同様に「医聖華岡青洲の町きのかわ市」と銘うって、市の方針として取り上げていただきたい。 <p>具体的には</p> <p>①研修の場として、 市内小学校・中学校での学習(4年生だけでなく各学年に応じた工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民学習…各種団体や地域での学習 ・区長会や市議会での研修 ・市職員の研修 ・市の上層部の方達の研修 <p>(リーダーとして、市民を指導していただきたい)</p> <p>②青洲記念館(仮称)の建設 資料の展示・収集、全国(世界)への発信 顕彰活動センター……等々</p>	<p>貴重なご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>本市の将来像である『わくわくの未来』や、それを支える『先人たちが築き上げてきた歴史や文化』という表現には、華岡青洲が体現した『自分のことだけでなく、誰かのために、地域のために尽くそうとする想い』が深く込められています。</p> <p>市の最上位計画である基本構想は、時代が変わっても変わることのない普遍的な理念を示すものであるため、特定の個人名の記載は控えております。</p> <p>しかし、ご提案いただいた教育分野の具体的な活用アイデアは、今後の『基本計画』を策定する上で非常に重要な視点です。各担当部課へこの趣旨を伝え、青洲の志を継承する具体的な事業が展開されるよう連携してまいります。</p>	なし
20	桃源郷運動公園再整備の取りやめ	<p>予算31億円を費やすのではなく、利用頻度を考慮したスポーツ公園であればよいのではないか、交通の便も悪く現状把握を重視していただきたい。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>市民アンケートや子育て世代ワークショップ、地域プレイヤーへのヒアリングなどを通し桃源郷運動公園再整備基本計画を策定してまいりました。本計画は、利用者の利便性向上や熱中症対策、子どもの遊び場の整備などを盛り込み、市民の皆様の満足度が向上するように計画したものです。再整備にあたっては、施設の老朽化対策に加え、市民をはじめスポーツ競技者に一層利用され、地域内外の人々が行き交う魅力ある新たな運動公園にしていきたいと考えています。</p> <p>財源については、国庫補助金や地方債などを最大限活用し、財政負担の軽減に努めながら、効率的な事業推進を図ってまいります。</p>	なし
21	防災完備の町づくり	<p>防災への意識を高め、いつおこりうるか不明な災害にむけて万全を期した旧町単位の防災施設を完備して欲しい。 日常と災害時が調整可能なベットと生活が可能な施設がほしい。(神戸市健康局環境衛生課) グラウンドに設置する仮の住宅ではないものを。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>安全で快適な暮らしを守る取り組みは非常に重要と考えています。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)においても、安全で安心して暮らせる持続可能なまちをまちづくりの目標のひとつに掲げています。</p> <p>ご指摘いただいているとおり、大規模災害発生時において、様々なケースに対応可能な防災施設の設置は、皆さまの安全で快適な暮らしを守る取り組みとして不可欠であり、第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)において掲げる、安全で安心して暮らせる持続可能なまちをまちづくりの目標についての重要な視点となるものです。</p> <p>今回ご指摘いただきましたことは、防災施策を推進していく中で欠かすことのできない課題であるとともに、皆さまに防災意識を持っていただく際にも重要な視点でありますので、実現に向けた検討を引き続き継続してまいります。</p>	なし
22	防犯完備の町づくり	<p>令和7年度実施された「未来会議」の中にありました「街灯がほしい」。町が暗い。紀の川市全般の中学生からの声でしたが、性犯罪等の無い安心して通学できるように、街灯の数をしっかりと、増やしてほしい。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>防災・防犯対策の強化は非常に重要と考えており、街灯・防犯灯については、和歌山県や地元自治区と連携しながら、その増設や機能維持に努めているところです。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想(案)においても、安全で安心して暮らせる持続可能なまちをまちづくりの目標のひとつに掲げており、実現するためには、日常に安心感が得られる環境が必要です。</p> <p>いただいたご提案につきましては、今後の施策や事業を検討していく際の参考とさせていただきますとともに、皆様が安心して暮らすことのできるまちづくりの推進に向け、関係部署とも情報共有を図ってまいります。</p>	なし

	該当か所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
23	保育所民営化 私立園との統合	耐震化を確立した園舎の設立、通園バスを利用しての保育をめざす 公立保育所（貴志川町）を民営化する等 専門性の高い保育士による充実した保育を願いたい。	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>防災・防犯対策の強化と子育て支援の充実は非常に重要と考えています。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）においても、安全で安心して暮らせる持続可能なまちをまちづくりの目標のひとつに掲げています。</p> <p>市の未来を担う子どもたちが安全に過ごすことができるためには保育施設の耐震化や保育士の確保は非常に重要であり、柔軟な施設運営には通園バスや民営化なども有効な手段の一つであると認識しています。</p> <p>いただいたご提案につきましては、保育環境の充実に向け関係部署とも情報共有を図ってまいります。</p> <p>現在市立保育所各所は、老朽化と耐震性能が課題となっており、施設再編計画に基づき施設改修や統廃合による安全対策が進められているところです。現行基準を満たしつつ、施設の長寿命化と耐震化、機能向上を目指して、計画的な整備が実施されています。</p> <p>市の未来を担う子どもたちが安全に過ごすことができるためには、施設の整備に加え保育専門職人材の確保も非常に重要であり、また柔軟で健全な施設運営には、通園バスや民営化なども有効な手段の一つであると認識しています。</p> <p>ご提案いただいた内容は、第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）において市が掲げる、安全で安心して暮らせる持続可能なまちをまちづくりの実現にむけ、より一層関係部署と情報共有と調査研究を進めてまいります。</p>	なし
24	障がい児者の福祉 の充実 (平池周辺の整備)	貴志川高校が将来、支援学校に移行されるのを機会に障がい者支援施設（現在、竹房にpureがありますが）を新たに設置し作業所・宿泊を伴う場である施設を増やす (大阪府光明池周辺の福祉の町づくり)	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>健康づくりや医療・福祉の充実は非常に重要と考えています。</p> <p>障害者支援施設は、障害のある方の生活の質の向上のみならず、ご家族の負担軽減、地域社会での自立支援のために重要であり、紀の川市でも様々な支援を行っている事業所があります。</p> <p>市としましては、そういった各事業所と連携を進めながら、健全な運営となるよう支援や関与をすることで、施設を利用する方々が安定した生活を送れることに注力しており、第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）においても、医療・福祉の充実や共生社会の実現をまちづくりの目標のひとつに掲げているところです。</p> <p>今回いただいたご意見を参考に、皆さまが支え合いながら健やかに暮らせるまちづくりの推進に向け、関係部署とも情報共有を進めてまいります。</p>	なし
25	高齢者施設	国民年金でも入所可能な低額の老人施設を旧町単位につくる。 その施設で働く職員は地元の若者を雇用する。 ひとりぐらし独居老人は無くす（名手病院様との協力を得る）	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>健康づくりや医療・福祉の充実は非常に重要と考えています。</p> <p>独居老人の問題、また地元雇用に関係するご提案をいただきありがとうございます。現在紀の川市では、特別養護老人ホームやケアハウスが民間事業者で運営されており、市はそういった各事業所と連携を進めながら、健全な運営となるよう支援や関与をすることで、市内の高齢者が安定した生活を送れることに注力しております。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）においても、医療・福祉の充実や共生社会の実現をまちづくりの目標のひとつに掲げているところですので、今回いただいたご意見を参考に、皆さまが支え合いながら健やかに暮らせるまちづくりの推進に向け、関係部署とも情報共有を進めてまいります。</p>	なし
26	平池周辺の整備	貴志川線等を利用して訪れる観光客を大切に、食事の場等を設ける。（西貴志保育所跡地） 観光化を図る貴志駅への経路の充実。	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>地域内に活力と実りが循環するまちづくりのためには観光施策は非常に重要と考えています。</p> <p>第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）においても、地域内に活力と実りが循環する経済基盤を築くために、仕事とにぎわいをまちづくりの目標のひとつに掲げています。</p> <p>観光客により地域にお金が増えることで地域が活性化することは、第3次紀の川市長期総合計画基本構想（案）に掲げる、地域内に活力と実りが循環する経済基盤を築くために仕事とにぎわいあるまちづくりに繋がります。</p> <p>いただいたご提案につきましては、今後の施策や事業を検討していく際の参考とさせていただくとともに、活力あるまちづくりの推進に向け、関係部署とも情報共有を図ってまいります。</p>	なし

	該当か所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
27	無記入	<p>基本構想として、次の将来像を提案します。</p> <p>豊かな恵み「紀の川」世界の医聖「華岡青洲」をもとにみんなでつなぐ実りある生きがいの住みよいまち」</p> <p>(1) 紀州一の河川名にちなむ市名「紀の川」および世界の誇り「華岡青洲」を基本理念とした行政展開を見据える画期的なワクワクする将来像を求めます。二つの固有名詞を入れなければ基本構想が明確になりません。</p> <p>(2) 全国の市町村どこでも通じる漠然とした将来像ではなくて、紀の川市独自の独創性のある将来像にしてほしいです。</p> <p>(3) 華岡青洲のような業績と人格に優れた人物は他にいません。私は旧粉河町に生を受け、華岡青洲という偉大な人物について特に知らないで育ちました。今まで学校や地域で学べなくて残念です。「青洲の里」による「学習会」や「華岡青洲学」を受けて、この年になって、医学の達人として「人類史上初の偉業」だけではなく、篤志家として「思いやり・助け合い」を実践し、社会や地域へ貢献した人格者であったことを知りました。家族・人びとの協働体制の構築、人命を救う志の成就、庶民の治療優先、全身麻酔薬の考案、難病治療、治療医学・予防医学の開発、薬草園・病院・学校の創設、門人（人材）育成、全国からの集客、防火槽・浄化槽・排水溝の設置、商業・観光の推進、薬製造・薬種商との連携、地域農業の振興、道路改修などを推進しました。青洲のお蔭で今があることを忘れないで、その偉業と精神を具体的な基本構想に取り入れてほしいです。また、全国から多くの人が集う日本の中心地になり、青洲が歴史を作ったように民間の力も活用して「青洲の里」に青洲国際医療記念館を設け、青洲や医薬の全国・世界の研究機関とし、さらに市内に華岡青洲総合病院を設立し、「内外合一」「活物窮理」（青洲の教え）を実践すること。青洲が麻酔薬開発に薬草を研究し、農業を振興したように、青洲に学んで紀の川市に農業系大学などの世界的な研究学習機関を設けて農業をさらに振興すること。華岡青洲を日本全国のすべての子ども・大人が学習できるように、学校の教科書（社会や道徳）に載せる尽力をすること。</p> <p>紀の川市の全小中学校が華岡青洲教育推進として全国の先駆となること。</p> <p>それらを紀の川市は率先して基本構想とする大英断を期待しています。</p> <p>(4) 皆が夢をもって生きることができ将来像を新たに企画して、紀の川市を日本・世界に広く知らせて、人びとのあこがれの地にしたいです。</p>	<p>貴重なご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>本市の将来像である『わくわくの未来』や、それを支える『先人たちが築き上げてきた歴史や文化』という表現には、華岡青洲が体現した『自分のことだけでなく、誰かのために、地域のために尽くそうとする思い』が深く込められています。市の最上位計画である基本構想は、時代が変わっても変わることのない普遍的な理念を示すものであるため、特定の個人名の記載は控えております。</p> <p>しかし、ご提案いただいた教育、福祉、農業といった各分野での具体的な活用アイデアは、今後の『基本計画』を策定する上で非常に重要な視点です。各担当部課へこの趣旨を伝え、青洲の志を継承する具体的な事業が展開されるよう連携してまいります。</p> <p>また、ご指摘いただいた「独創性のある基本構想」についての重要性も認識しており、上述のとおり世界に誇る華岡青洲が体現した思いを込めることで、他自治体にはない華岡青洲の思いが息づく、「皆が夢をもって生きることができまち」としての将来像を作り上げていきたいと考えています。</p>	なし
28	無記入	<p>「市の将来像」</p> <p>「世界初全身麻酔手術成功華岡青洲のまち 紀の川市 つながる命に感謝してともに歩む生きがいのまち」</p> <p>紀の川市が高らかに世に誇れる偉人、偉業と人格で世界に通じる偉人は誰か。広いこの世で「華岡青洲」しかいない。無痛・無意識で安心安全に治療して、不治の病から人類を救った救世主は誰か。難病で死を待つ時代に終わりを告げ、あらゆる病の治療を可能にしたのは誰か。医科学・医学教育・医師倫理・全人類の保健を確立した世界医師会に大きな影響を与えたのは誰か。自己選択・自己決定のできるインフォームドコンセントや最善の治療を求めるセカンドオピニオンの先駆は誰か。伝染病（感染症）の予防に尽くしたのは誰か。極めて多くの臨床医を育成したのは誰か。現在の医療理念を確立したのは誰か。アメリカ合衆国シカゴ市に本部がある国際外科学会で業績が永久にたたえられていて、今も世界の人びとがお蔭を受けている人物は誰か。</p> <p>華岡青洲は自ら完成した悲願の全身麻酔薬により乳がん摘出手術を成功させた。人類史上、世界で初めての快挙。失敗すれば自己や家族が没落することを覚悟した全身全霊の気ある決断。紀州だけでなく全国の地域医療を実現した。西洋の名医シーポルトが全身麻酔手術を日本で自ら試すも失敗するほど、華岡流医術は世界の群を抜いていた。また、華岡青洲は医療で世に尽くすとともに、国の基幹産業である農業を振興した。華岡流医術は近代医学を開き、日本を近代化した。華岡青洲は医学史だけでなく人類の歴史に不滅の名を刻んだ。人類が過去・現在・未来にわたり肝に銘ずべきこと。</p> <p>皆が今生きているのは驚異の奇跡。今もこれからも生きる人間の基本はこの世に存在する人間が生を享受すること。かけがえのない人、一人ひとりが生を尊び、互いの尊厳を尊重すること。思いやり・助け合いの豊かな心をもとに市民が生涯生きがいをもって生きること。基本構想の基本軸である。</p> <p>「命を大切に安心安全にすごせる夢のあるまち 紀の川市！」 「思いやり・助け合いの自助・共助の社会へと歩む 紀の川市！」 「自利中心よりも利他の精神を尊ぶ 紀の川市！」</p> <p>華岡青洲は紀の川市民の誇りである。自と勇気をもって、上記の新たな将来像を高らかに掲げよう。</p>	<p>貴重なご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>本市の将来像である『わくわくの未来』や、それを支える『先人たちが築き上げてきた歴史や文化』という表現には、華岡青洲が体現した『自分のことだけでなく、誰かのために、地域のために尽くそうとする思い』が深く込められています。市の最上位計画である基本構想は、時代が変わっても変わることのない普遍的な理念を示すものであるため、特定の個人名の記載は控えております。</p> <p>しかし、ご提案いただいた教育、福祉、農業といった各分野での具体的な活用アイデアは、今後の『基本計画』を策定する上で非常に重要な視点です。各担当部課へこの趣旨を伝え、青洲の志を継承する具体的な事業が展開されるよう連携してまいります。</p>	なし

	該当箇所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
29	2-(1)まちづくりの目標 人づくりと地域づくり	<p>上記計画案をどのように取組むか、私案を記載します。 但し、紀の川市東部(旧粉河及び旧那賀)を対象。</p> <p>①旧粉河町について 粉河寺を中心とした門前町粉河の歴史や文化を、学生や観光客等が見学し知識を深めてもらう施設を用意する(旧白水園や旧粉河中学校)。又、定期的にテーマに沿って学習会を開催する。例えば粉河の[水]や[祭]を題材に歴史に触れる。</p> <p>②青洲の里について 私自身月に数回春林軒でボランティアガイドしていますが一般財団法人青洲の里と紀の川市が本格的な取組を行えばこの地が全国的に認知され、医療関係者の聖地となります。先ず両方で組織を立ち上げ具体的な内容と期限を定めて実行に移すこと。</p> <p>③ふるさとセンターから粉河運動場周辺に紀の川市の歴史や文化を学習できる資料館を用意する。現状は人口減少、空家の増加により貴重な歴史資料が散逸している。また、地元の学生が地元で誇りや関心を抱く場所や機会を提供できていない。</p> <p>④ふるさとセンター周辺整備新旧竜門橋間堤防沿いに紅葉を植林、中津川河口桜並木と合わせて市民憩いの場にする。又、竜門橋北河川敷きの雑木林と湾処をピオトープとして整備、展望台も設置する。</p>	<p>基本構想を踏まえた取り組みに関するご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>ご提言いただきました、粉河・那賀エリアには数多くの魅力的な観光資源や歴史的財産があることを認識しております。これらを活かすことで、市民や観光客の皆様が学びやくつろぎの機会になり、それが地域の活性化につながるものと期待できます。</p> <p>ご提言の内容は今後の施策や事業を検討していく際の参考とさせていただくとともに、活力あるまちづくりの推進に向け、関係部署とも情報共有を図ってまいります。</p>	なし
30	まちづくりの目標 (政策目標)全般について	<p>私たちは、稽古照今への挑戦をすると良いのでは、と考えます。</p> <p>医聖 華岡青洲先生は、約220年前に世界ではじめて全身麻酔での乳がん手術に成功し、全国各地より、病を治してもらいたい患者や門人になりたい医者が先生のもとに訪れました。 アメリカのシカゴの外科学会で称えられるほどの世界の偉人として有名ですが、ご功績は華岡流医術のみならず。 華岡青洲先生は、思いやりや助け合いの精神に満ち、生まれ育った西野山などの地域づくりにもご尽力されました。 私たち紀の川市民は、今こそ、華岡青洲先生に学び、それを肌で感じとり、今に活かして行くべきではないでしょうか。 漠然とした内容の拙い意見ですが、でひ活かしていただきたく僭越ながら、申し上げます。</p> <p>お読みいただき有り難うございます。</p>	<p>貴重なご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>本市の将来像である『わくわくの未来』や、それを支える『先人たちが築き上げてきた歴史や文化』という表現には、華岡青洲の思いやりや助け合いの精神が深く込められています。</p> <p>市の最上位計画である基本構想は、時代が変わっても変わることのない普遍的な理念を示すものであるため、特定の個人名の記載は控えておりますが、目指すべきまちの将来像である基本構想に華岡青洲の精神を反映させることで、市民全員で思いを共有することができると考えています。</p> <p>青洲の志を継承する具体的な事業については、庁内で連携し検討してまいります。</p>	なし
31	(総体的に) 偉人継承について	<p>紀の川市には、素晴らしい名所、美味しい食物(果物等)、また過去には、偉人もたくさんいます。 その中でも、アメリカ合衆国シカゴ市にある国際外科学会で認められた、世界初の麻酔薬を完成させ、乳がん手術に成功した医聖華岡青洲が、私達の郷土紀の川市で誕生し、この偉業を成しとげ、現在の医学の礎になっている事を市民の方は、知っているでしょうか? 忘れていないでしょうか?</p> <p>紀の川市=医聖華岡青洲としても過言ではないと思います。</p> <p>紀の川市のPRのためにもこの名声を活用させていただいてもいいのでは? と思います。</p> <p>ボランティア活動で、道の駅青洲の里春林軒で語り部をさせていただいていますが、他県からお越しの方々が、「すばらしい人ですよ」と反対に仰ってくれます。</p> <p>市民全体として、医聖青洲の実績、人となり等を「もっと知り、学び、伝える」そういう場、時が、あってもいいのでは?</p> <p>市民全体としてまだまだ知らない方が多いように思われます。</p> <p>世界に誇れる医聖華岡青洲、もっと市民全体で、県外に日本全体に、世界に伝えていきたいものですね。</p>	<p>貴重なご提言をいただきありがとうございます。</p> <p>本市の将来像である『わくわくの未来』や、それを支える『先人たちが築き上げてきた歴史や文化』という表現には、華岡青洲の思いやりや助け合いの精神が深く込められています。</p> <p>市の最上位計画である基本構想は、時代が変わっても変わることのない普遍的な理念を示すものであるため、特定の個人名の記載は控えておりますが、目指すべきまちの将来像である基本構想に華岡青洲の精神を反映させることで、市民全員で思いを共有することができると考えています。</p> <p>青洲の志を継承する具体的な事業については、庁内で連携し検討してまいります。</p>	なし

	該当か所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
32	第3次紀の川市長 期総合計画 ① パブリックコメントについて	<p>本構想について意見を述べます。 まず率直に申し上げて、本構想は「失敗しないための計画」であり、「成功するための計画」ではありません。 その結果、どこにでもある地方計画に留まり、誰の記憶にも残らない内容になっています。 掲げられている「ひとづくり」「仕事にぎわい」「くらしと環境」「健康と共生」「しくみと共創」は一見バランスが取れていますが、裏を返せば特徴が弱く、方向性や責任の所在が見えにくい設計です。 それは「変わる意思が見えないこと」です。 既存施策の延長、無難な表現、調整された言葉の積み重ねにより、結果として「やっている感」にとどまる構想になっています。 しかし現実として、地方はすでに競争環境にあり変化できない自治体から順に選ばれなくなる時代です。</p> <p>本構想は誰のためのものなのか。 少なくとも、 ・若者 ・外部人材 ・挑戦意欲のある人材 に対して、十分な魅力を提示できていません。 結果として既存の住民に配慮した「安心設計」にとどまっている印象を受けます。 しかし、その延長線上だけでは新たな価値や人の流れは生まれません。</p>	<p>本市の将来に対し、極めて鋭く、かつ建設的な危機感を持ってご提言をいただき、深く感謝申し上げます。</p> <p>『失敗しないための計画から、成功するための計画へ』というご指摘は、人口減少と激しい社会変化に直面する本市にとって、非常に重い問いかけであると認識しております。本市においては、これまでも福祉や教育の充実を通じて、市民の皆様の暮らしを支える基盤づくりに注力してまいりました。これらの積み上げは、どのような時代にあっても守るべき本市の財産です。</p> <p>一方で、ご指摘の通り、これまでの延長線上だけでは、若者や挑戦意欲のある人材、多様な背景を持つ方々に選ばれる『居場所』としての魅力を十分に示しきれないという課題も痛感しております。</p> <p>本基本構想では、目標5『しくみと共創』を掲げ、行政の管理だけでなく、多様な主体がリスクを恐れず挑戦できる土壌づくりを理念として定めました。ご提案いただいた規制緩和や社会実験、AI・デジタル技術の活用による新しい働き方への対応、さらには既存の枠組みを超えた参画の仕組みづくりについては、この理念を実現するための具体的なアクションとして、今後策定する『基本計画』の中で、実効性の高い施策となるよう検討を進めてまいります。</p> <p>これまでの歩みを大切にしながらも、時代の変化を捉え、誰もが自分の居場所と役割を感じられる『わくわくする未来』の紀の川市を、市民の皆様とともに、勇気を持って切り拓いていく決意です。</p> <div data-bbox="1665 747 2430 982" style="border: 2px solid orange; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>No.32のご意見は文字数の都合上、①～⑤に分け、複数ページにかけて掲載しています。</p> <p>市の回答もNo.32①～⑤それぞれのページに掲載していますが、同一内容のものです。</p> </div>	
32	第3次紀の川市長 期総合計画 ② パブリックコメントについて	<p>決定的な課題 最大の課題は、 リスクを抑えることを前提にしている点です。 本構想には、 ・挑戦や失敗を許容する仕組み ・民間や外部人材に委ねる余白 ・新しい価値を試す環境 が不足しています。 また、 「人がなぜ来るのか」「なぜ滞在するのか」「なぜ消費するのか」といった視点の具体性が弱く、実際の人流や経済活動につながるイメージが見えにくい構成です。 地域の現実に対する認識 加えて重要な点として、 若者の流出と人材構造の問題があります。 和歌山全体として、進学や就職を機に優秀な人材が県外へ流出し、高度な知識やスキルを活かせる仕事が地域に少ない現状があります。 その結果として中学生・高校生の段階で「地元に戻らない」という前提が生まれている状況です。</p>	<p>本市の将来に対し、極めて鋭く、かつ建設的な危機感を持ってご提言をいただき、深く感謝申し上げます。</p> <p>『失敗しないための計画から、成功するための計画へ』というご指摘は、人口減少と激しい社会変化に直面する本市にとって、非常に重い問いかけであると認識しております。本市においては、これまでも福祉や教育の充実を通じて、市民の皆様の暮らしを支える基盤づくりに注力してまいりました。これらの積み上げは、どのような時代にあっても守るべき本市の財産です。</p> <p>一方で、ご指摘の通り、これまでの延長線上だけでは、若者や挑戦意欲のある人材、多様な背景を持つ方々に選ばれる『居場所』としての魅力を十分に示しきれないという課題も痛感しております。</p> <p>本基本構想では、目標5『しくみと共創』を掲げ、行政の管理だけでなく、多様な主体がリスクを恐れず挑戦できる土壌づくりを理念として定めました。ご提案いただいた規制緩和や社会実験、AI・デジタル技術の活用による新しい働き方への対応、さらには既存の枠組みを超えた参画の仕組みづくりについては、この理念を実現するための具体的なアクションとして、今後策定する『基本計画』の中で、実効性の高い施策となるよう検討を進めてまいります。</p> <p>これまでの歩みを大切にしながらも、時代の変化を捉え、誰もが自分の居場所と役割を感じられる『わくわくする未来』の紀の川市を、市民の皆様とともに、勇気を持って切り拓いていく決意です。</p> <div data-bbox="1688 1650 2454 1885" style="border: 2px solid orange; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>No.32のご意見は文字数の都合上、①～⑤に分け、複数ページにかけて掲載しています。</p> <p>市の回答もNo.32①～⑤それぞれのページに掲載していますが、同一内容のものです。</p> </div>	

	該当か所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
32	第3次紀の川市長 期総合計画 ③パブリックコメントについて	<p>提案</p> <p>中途半端な実施であれば、効果は限定的でありこのような政策は止めるべきです。 むしろ地域の可能性を狭める懸念すらあります。 本気で進めるのであれば、 具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規制緩和エリアの設定 ・ナイトタイムエコノミーの導入 ・外部プレイヤーの積極的受け入れ ・社会実験制度の導入 <p>など、従来の枠組みを超えた施策が必要です。</p> <p>再定義</p> <p>本エリアは単なる整備対象ではなく新しい価値を生み出す実践の場として位置づけるべきです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦できる環境 ・多様な主体が関われる仕組み ・試行錯誤が許される環境づくり <p>これらがなければ、持続的な変化は生まれません。</p>	<p>本市の将来に対し、極めて鋭く、かつ建設的な危機感を持ってご提言をいただき、深く感謝申し上げます。</p> <p>『失敗しないための計画から、成功するための計画へ』というご指摘は、人口減少と激しい社会変化に直面する本市にとって、非常に重い問いかけであると認識しております。本市においては、これまでも福祉や教育の充実を通じて、市民の皆様の暮らしを支える基盤づくりに注力してまいりました。これらの積み上げは、どのような時代にあっても守るべき本市の財産です。</p> <p>一方で、ご指摘の通り、これまでの延長線上だけでは、若者や挑戦意欲のある人材、多様な背景を持つ方々には選ばれる『居場所』としての魅力を十分に示しきれないという課題も痛感しております。</p> <p>本基本構想では、目標5『しくみと共創』を掲げ、行政の管理だけでなく、多様な主体がリスクを恐れず挑戦できる土壌づくりを理念として定めました。ご提案いただいた規制緩和や社会実験、AI・デジタル技術の活用による新しい働き方への対応、さらには既存の枠組みを超えた参画の仕組みづくりについては、この理念を実現するための具体的なアクションとして、今後策定する『基本計画』の中で、実効性の高い施策となるよう検討を進めてまいります。</p> <p>これまでの歩みを大切にしながらも、時代の変化を捉え、誰もが自分の居場所と役割を感じられる『わくわくする未来』の紀の川市を、市民の皆様とともに、勇気を持って切り拓いていく決意です。</p> <div data-bbox="1665 762 2430 1014" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f4a460;"> <p>No.32のご意見は文字数の都合上、①～⑤に分け、複数ページにかけて掲載しています。</p> <p>市の回答もNo.32①～⑤それぞれのページに掲載していますが、同一内容のものです。</p> </div>	なし
32	第3次紀の川市長 期総合計画 ④パブリックコメントについて	<p>総括</p> <p>本構想は、安全性と網羅性は備えていますが、変化を生み出す力としては不十分です。 このままでは大きな変化が起きないまま時間だけが経過する可能性があります。 今紀の川市に求められているのは、安定の維持に加え、新しい価値を創出する行政と管理だけでなく、変化と挑戦を生み出すまちづくりです。 これらの現状維持を選ぶのかリスクを取り、未来を切り拓くのか その選択が問われています。 本構想のさらなる具体化と再設計を強く求めます。</p> <p>本構想において最も不足しているのは「居場所で選ばれる街」という視点です。 人は仕事や制度だけでなく「ここにいていい」と感じられるかどうかで地域を選び、定着します。 しかし本構想からは「既存の意思決定層・既得的な影響力を持つ層」だけに限定されており形式的な中身になります。 主に非正規で働く人、夜間経済に関わる人、単身世帯、子育て世代、外(紀の川市外や県外や国外)から戻る人に加えLGBTQの方、身体や精神(知的、発達障がい等)、外国人など、多様な背景を持つ人が安心して暮らし、挑戦できる環境の具体性が十分に感じられません。 これまで地域を支えてきた仕組みや価値観が、現在の社会変化に十分に対応しきれず、結果として地域の活力低下につながっている可能性があります。 又社会的に立場の弱い人の意見を聞く手段は少なく同調圧力により構想は決定し形式的な構想となります。</p>	<p>本市の将来に対し、極めて鋭く、かつ建設的な危機感を持ってご提言をいただき、深く感謝申し上げます。</p> <p>『失敗しないための計画から、成功するための計画へ』というご指摘は、人口減少と激しい社会変化に直面する本市にとって、非常に重い問いかけであると認識しております。本市においては、これまでも福祉や教育の充実を通じて、市民の皆様の暮らしを支える基盤づくりに注力してまいりました。これらの積み上げは、どのような時代にあっても守るべき本市の財産です。</p> <p>一方で、ご指摘の通り、これまでの延長線上だけでは、若者や挑戦意欲のある人材、多様な背景を持つ方々には選ばれる『居場所』としての魅力を十分に示しきれないという課題も痛感しております。</p> <p>本基本構想では、目標5『しくみと共創』を掲げ、行政の管理だけでなく、多様な主体がリスクを恐れず挑戦できる土壌づくりを理念として定めました。ご提案いただいた規制緩和や社会実験、AI・デジタル技術の活用による新しい働き方への対応、さらには既存の枠組みを超えた参画の仕組みづくりについては、この理念を実現するための具体的なアクションとして、今後策定する『基本計画』の中で、実効性の高い施策となるよう検討を進めてまいります。</p> <p>これまでの歩みを大切にしながらも、時代の変化を捉え、誰もが自分の居場所と役割を感じられる『わくわくする未来』の紀の川市を、市民の皆様とともに、勇気を持って切り拓いていく決意です。</p> <div data-bbox="1650 1661 2415 1913" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f4a460;"> <p>No.32のご意見は文字数の都合上、①～⑤に分け、複数ページにかけて掲載しています。</p> <p>市の回答もNo.32①～⑤それぞれのページに掲載していますが、同一内容のものです。</p> </div>	

	該当箇所	提出されたご意見等	意見等に対する市の考え方	(案)の修正
32 ⑤	第3次紀の川市長 期総合計画 パブリックコメン トについて	<p>また和歌山全体としては高い専門性やスキルを活かせる仕事が少ない現状があり、その結果、中学生・高校生の段階から「地元には戻らない」という前提で進学・就職が選ばれている構造が生まれています。</p> <p>居場所と仕事の両方がなければ、人は定着しません。</p> <p>さらに現在は、令和の時代であり、AI(人口知能)の進展によって働き方や産業構造が大きく変化する転換期にあります。</p> <p>場所に縛られない働き方や新しい価値創出が可能な時代であるにも関わらず、構想からはその変化を前提とした戦略が十分に読み取れません。</p> <p>また、こうした環境変化に対応するためには行政自体の変化も不可欠ですが、従来型の発想や枠組みから大きく踏み出している印象は弱く、変化へのスピードや覚悟にも課題があると感じます。</p> <p>さらに、現代においては多様な働き方・生き方を受け入れられない地域は、徐々に活力を失っていきます。</p> <p>率直に言えば、本構想は安全で無難ではあるものの、印象に残らず、やや退屈で、「ここで生きたい」と思わせる力が弱いと感じます。</p> <p>したがって今後は多様な人が居場所を持ち、かつ能力を発揮できる街への転換が必要です。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方や人材を受け入れること ・高付加価値な仕事や挑戦機会を創出すること ・戻ってきた人の受け皿を整えること ・単身者や子育て世代が暮らしやすい環境を整えること ・AI(人口知能)時代を見据えた新たな産業や働き方への対応を進めることなどを含め 居場所と仕事、そして時代変化を踏まえた再設計を強く求めます。 	<p>本市の将来に対し、極めて鋭く、かつ建設的な危機感を持ってご提言をいただき、深く感謝申し上げます。</p> <p>『失敗しないための計画から、成功するための計画へ』というご指摘は、人口減少と激しい社会変化に直面する本市にとって、非常に重い問いかけであると認識しております。本市においては、これまでも福祉や教育の充実を通じて、市民の皆様の暮らしを支える基盤づくりに注力してまいりました。これらの積み上げは、どのような時代にあっても守るべき本市の財産です。</p> <p>一方で、ご指摘の通り、これまでの延長線上だけでは、若者や挑戦意欲のある人材、多様な背景を持つ方々には選ばれる『居場所』としての魅力を十分に示しきれないという課題も痛感しております。</p> <p>本基本構想では、目標5『しくみと共創』を掲げ、行政の管理だけでなく、多様な主体がリスクを恐れず挑戦できる土壌づくりを理念として定めました。ご提案いただいた規制緩和や社会実験、AI・デジタル技術の活用による新しい働き方への対応、さらには既存の枠組みを超えた参画の仕組みづくりについては、この理念を実現するための具体的なアクションとして、今後策定する『基本計画』の中で、実効性の高い施策となるよう検討を進めてまいります。</p> <p>これまでの歩みを大切にしながらも、時代の変化を捉え、誰もが自分の居場所と役割を感じられる『わくわくする未来』の紀の川市を、市民の皆様とともに、勇気を持って切り拓いていく決意です。</p> <div data-bbox="1697 751 2463 966" style="border: 2px solid orange; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>No.32のご意見は文字数の都合上、①～⑤に分け、複数ページにかけて掲載しています。</p> <p>市の回答もNo.32①～⑤それぞれのページに掲載していますが、同一内容のものです。</p> </div>	
33	無記入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医聖華岡青洲先生の顕彰が一部の心あるボランティアの人々にゆだねられている 2. 日々他府県より大勢の人々が訪れている現状であるが紀の川市が中心となって県・国が世界へ発信して観光の一環としていく 3. 若者達に継続していける人材育成に力を入れていく。 4. 紀の川市役所内外道路案内板、旗等々設置 5. 幼小中高生が継続して学べる環境づくり。 6. メディアへのアプローチに力を入れる 7. 施設設備充実の為にファンダ等を活用する 8. 昨今、市に定住を求めて若者が多くなってきている。現在直面している問題として、幼児教育（保育所待機児童が増加）不安を解消する為の取り組みが急務であり、状況をガラス張りとする。 <p>住みたい住んでよかった市としていくビジョンの作成を公開する。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>市の最上位計画である基本構想は、時代が変わっても変わることのない普遍的な理念を示すものであるため、特定の個人名の記載は控えておりますが、華岡青洲に関する学びや発信は非常に重要な視点です。</p> <p>また、若年層定住に向けた取り組みや子育て・教育環境整備のための取り組みの重要性についても認識しています。</p> <p>各担当部課へいただいたご意見の趣旨を伝え、住みたいまち、住み続けたいまち、住んでよかったまちと感じていただけるような具体的な事業が展開されるよう連携してまいります。</p>	なし